

日本設備管理学会誌 論文・技術報告および事例・資料の執筆細則

(2010年1月13日改訂)

日本設備管理学会 編集委員会

1. 原稿の投稿方法

投稿にあたっては、当学会指定の投稿申込書（学会ウェブサイトまたは各号末尾に掲載）に必要な事項を記入したものを添付して、以下の要領に従って作成した原稿を提出する。

- 1) 提出原稿の種類（投稿規定参照）を明記する。
- 2) ワードプロセッサで作成された本文と図表のオリジナル原稿の Word 形式ファイルと、そのオリジナル原稿から著者名と所属、後述する著者紹介をぬいた副原稿の Word 形式ファイルを提出する。標準的な原稿フォーマットは、24 字×44 行×2 段=2,112 字／頁に設定し執筆すること。
- 3) オリジナル原稿の末尾に著者紹介として、著者全員の顔写真と略歴（1 人につき 10 行前後）を添付する。これも基準分量内に含めること。
- 4) 原稿の基準分量は、上記の A4 判の原稿で次のように定める（詳しくは後の「5. 体裁と書き方」で述べる。）

- ・ 研究論文，技術論文 6 ページ以内（12,672 字）
- ・ 提案論文，速報論文，技術報告，事例・資料 4 ページ以内（8,448 字）

なお、この分量には表題、著者名、所属、和文要旨、英文要旨、図・表・写真、および著者紹介のスペースも含める。この基準分量を著しく超える投稿論文は受け付けられない場合があるので、この基準分量に収まるように努力すること。ただし、査読委員の照会事項に対応して掲載用原稿がこの基準分量を超えた場合には、その超過は認められる。

- 5) 原稿の送付先および必要書類の請求先は下記とする。

〒461-8580 名古屋市東区白壁三丁目 12-13 中産連ビル 新館 2 階
日本設備管理学会 編集委員会事務局
電子メール sopej@chusanren.or.jp

なお、原稿送付は電子メールの添付ファイルを原則とするが、ファイル容量が 5MB を超える場合は事務局指定の記録メディアにファイルを収めて郵送等により提出すること。

2. 最終原稿ファイル提出の際の注意事項

投稿者は、投稿原稿が編集委員会により採録が決定した後、最終原稿の Word 形式ファイルを編集委員会事務局に提出する。

- 1) 提出するファイルは査読終了後の最終原稿と内容が一致するファイルとする。提出されたファイルは返却しない。
- 2) 事務局指定の送付方法で提出された場合の記録メディア等は返却しない。
- 3) Word 形式ファイルでテキスト情報が抽出できない場合は、テキストファイルも提出する。

3. 原稿作成の注意事項および著者校正

編集に必要な各種の指示がある場合、原稿の余白に赤字の「吹き出し」等に表示すること。その後、事務局によって編集作業が行われた後、著者校正が行われる。著者校正は一度限りとし、修正は誤植程度にとどめ、内容の変更は認めない。

4. 掲 載 料

投稿された論文、技術報告、事例・資料について原稿収録後、30,000 円の掲載料を徴収する。また、6 ページを超えるページ超過分については、1 ページ当たり 15,000 円の超過ページ代を徴収する。査読段階の訂正において基準ページを超過した場合、または編集部の作業段階で基準ページを超過した場合も超過ページ代を徴収する。ただし、記念号・特集号など特別な掲載様式の場合は、掲載料および超過ページ代の金額を編集委員会が別途定める。

5. 原稿の体裁と書き方

5.1 原稿の様式

- 1) A4 用紙縦置きに、横書きの印字原稿とし、第 1 ページの下・中央から本文を通してページ数を打つこと。
- 2) ワードプロセッサ機能によって表しにくい文字や記号は、原稿に画像として貼り付けること。
- 3) 原稿の第 1 ページ目に論文の種類と、和文・英文の表題・著者名・所属、和文要旨、和文キーワード、英文要旨、英文キーワードを記載する。著者名は、和文表題の下に和文著者名、英文表題の下に英文著者名とそれぞれ対応をとり、記載する。著者所属は、著者名の下側に対応がとれるように記載する。著者所属が複数ある場合には、著者名に上付きで星印「*」を付け、この星印の数で著者所属との対応がとれるようにする。
- 4) 論文の要旨は和文と英文の両方をつける。和文要旨は 300 字程度、英文要旨は 150 語程度で記載することとし、著者の責任により英文校閲も済ませておくこと。ただし、Native speaker による英文校閲を希望する場合は、その旨を編集部に連絡する。英文校閲費は実費を申し受ける。また、要旨中では図・表・文献・数式などの引用はさけ、行を変えない。
- 5) 論文の内容を表す和文と英文の両方のキーワード（単語もしくは節）をそれぞれ 5 個程度つけること。論文に関連した対象分野や手法等が類推できる多面的な角度からのキーワードが望ましい。

5.2 本 文

5.2.1 見 出 し

見出しの頭は下記に例示する様式に従うこと。

<p>1. 設備管理における設備システム [MS ゴシック, 11 ポイント]</p> <p>1.1 設備システムの構成 [MS ゴシック, 11 ポイント]</p> <p>1.1.1 設備システムに必要となる要素技術 [MS ゴシック, 11 ポイント]</p> <p>1) 主要な要素技術の因果関係 [MS 明朝, 9 ポイント]</p> <p>(1) 設備管理のための情報システム [MS 明朝, 9 ポイント]</p> <table><tr><td>① 計画系情報システム</td><td rowspan="3">} 箇条書き</td></tr><tr><td>② 実績収集系情報システム</td></tr><tr><td>③ データベース管理システム</td></tr></table>	① 計画系情報システム	} 箇条書き	② 実績収集系情報システム	③ データベース管理システム
① 計画系情報システム	} 箇条書き			
② 実績収集系情報システム				
③ データベース管理システム				

見出しの書き方

5.2.2 文字・記号

- 1) 文体は和文口語体とし、現代仮名遣い、学術用語以外の漢字は常用漢字を用いること。本文中の日本語のフォントはMS明朝（またはそれに類似の字体）で9ポイントとする。
- 2) パラグラフの頭は1字分あけること。
- 3) 句点は「。」，読点は「，」を用いること。
- 4) 数字は半角で入力し、原則として3桁ごとにコンマ「，」を入れること。
- 5) 英字は半角で入力し、本文中のフォントは原則としてTimes New Roman（またはそれに類似の字体）9ポイントとすること。
- 6) 数式以外のイタリック文字は「斜体」で設定すること。

5.2.3 図・表・写真

- 1) 図・表・写真は原稿そのものを直接写真製版して用いるので、その中で用いる文字も含めて、原稿としてふさわしい品質と解像度のものを貼り付けること。とくに図版に網を掛ける場合は、印刷時に不鮮明に印刷されてしまう場合があるので、著者の責任において網を掛けた部分が鮮明に印刷されるように注意して図を作成すること。図・表・写真の体裁が整っていない場合は、それらの編集にかかった費用を別途徴収する。
- 2) 白黒印刷を基本とするが、カラー印刷を希望する場合には著者の実費負担とする。
- 3) 最終原稿には印刷用の図・表・写真を添付する。図・表・写真は掲載される時3/5～1/3程度に縮小されることを念頭におき、文字、記号等の大きさに留意する。
- 4) 写真の画像ファイル容量が5MBを超える場合は、事務局指定の記録メディアにファイルを収めて郵送等により提出すること。
- 5) 図・写真はそれぞれの通し番号とその標題とを、図・写真の下中央に記載する。
- 6) 表はそれぞれの通し番号とその標題とを、表の上中央に記載すること。

5.2.4 数式

- 1) 数式には通し番号をつけ、行の右端より1文字あけて、たとえば(1)(2)…のように記載すること。
- 2) 数式は、Wordの場合、原則としてオブジェクトの「数式」を用いて編集すること。その他のワードプロセッサや文書整形ソフトウェアの場合、標準的な数式編集機能を用いて編集すること。
- 3) ワードプロセッサ機能では表しにくい数式については、画像等で別途記載すること。

5.2.5 注

- 1) 注を本文中に指定するさいには、次のように上付きとして記載すること。
例：「……の手法を適用した場合に^(注¹)，その結果として……」
- 2) 注は本文末に以下の図で例示のようにまとめる。

注
(1) 設備管理における本手法の意義は、……
(2) この用語の別の呼称として、……

注の記載例

5.2.6 参考文献

- 1) 参考文献を本文中に指定する際には、次のように上付きとして記載すること。
例：……Clark^[1]によれば……
……方式^{[2],[3]}……
……現在まで研究成果^{[4]-[8]}からは、……

2) 参考文献は、本文および注の後に、以下の例示のように本文での引用順にまとめること。

- [1] Clark, K. B. and Wheelwright, S. C.: *Managing New Product and Process Development*, Academic Press, pp.74-84 (1993)
- [2] Vassian, H. J.: Application of Discrete Variable Servo Theory to Inventory Control, *Oper. Res.*, Vol. 3, No. 3, pp.272-282 (1955)
- [3] 奥村文徳, 野村重信: 生産工程における在庫構造特性の分析, 日本設備管理学会誌, Vol. 11, No. 3, pp.272-282 (1999)
- [4] 玉木欽也: 「戦略的生産システム」, 白桃書房, pp.121-144 (1996)

参考文献の記載例

3) 雑誌名は「国際逐次刊行物誌名略記号」にしたがって省略する。

付則 この細則は 2010 年 3 月 1 日より施行する。